

(発行者)松ヶ根部屋後援会  
発行 273-0037  
連絡先  
千葉県船橋市古作4-13-1

《協力》スポーツニッポン新聞社

第59号

# 松ヶ根部屋

## 11月ご当地場所は「自己最高位で」

# 関 鈴 豊 秋



最高位を更新したいという意識を強く持っている。そのためは再び三役に上がり、そこで勝ち越さないといけない。まずは関脇に上がらないといけない



松ヶ根部屋の松嵐山が秋場所(9月14日初日)両国国技館での善き返しを約束した。東前頭5枚目で臨んだ5月の夏場所では8勝7敗を勝ち越した

9月14日初日秋場所 前頭筆頭だった7月の名古屋場所は4勝1敗で負け越。具体的な目標として掲げている「最高位更新に向け、ただたんに稽古に精進することを誓った。

### 夏巡業の力所 連日の猛稽古

東北、北海道の計9カ所を回った8月の夏巡業11号真。さらなるパフォーマンスを磨けるべく、松嵐山の目つきは本気だった。明稽古では連日さまざまなタケの関取衆と稽古を敢行。妙義、豊饗といった旨のある相手と番敷を重ねた一方で、必要とあらば十両力士の申し合いにも参加して自らを鍛え直した。

「最高位を更新したいという意識を強く持っている。そのためは再び三役に上がり、そこで勝ち越さないといけない。まずは関脇に上がらないといけない。そのため何をしなければならぬかを考えています」

30歳の夏。部屋頭の胸に去来したものは、平幕として臨んだ最近の場所で味わった悔しさしかなかった。



### 西前頭筆頭の稽古も名古屋の試練も

7月の名古屋場所では西前頭筆頭まで番付を上げたが、ここでも苦戦を強いられた。上位との対戦が続いた前年戦は「自分の相撲は豊けた」と振り返ったものの、思ったよりも星が伸びずに勝



6月20日にホテル・ニユー・オー・オクタエで行われた拳式・披露宴で、あい矢入と

### 6・20盛大に披露宴

6月20日、東京都千代田区のホテルニユー・オー・オクタエで松嵐山とあい夫人の拳式披露宴が行われ、松ヶ根部屋や後援会関係者、大関・稀勢の里ら約400人が出席した。昨年3月に婚姻届を提出し、同10月2日には長男・志希也(ゆきや)ちゃんも誕生した松嵐山。「大勢の方々に支えられ、改めて周囲の方々に支えられて自分自身は生きているのだから感謝していました。応援していただいている方の相撲を感心、これからも相撲を取っていきたい」と人生の晴れ舞台を終え、強い決意を固めていた。

止まり。善き返しを狙った後年戦も「番付が下の相手に負けてはいけない」と思つて善き返しを挑んでしまった」と最後まで流れを打破できず、4勝11敗で千秋楽を終えた。「いろいろ考えても、結局当たり着くのは自分の相撲をいかに取れるかというところ。プラス思考で稽古に励んでいきたい。我儘の15日間ではあったが、前を向かなければ進化はできないということに改めて実感した。11月には当地の九州場所が待っている。「自己最高位で地元に戻るんだという気持ちを持って秋場所に臨みたい」。美りの秋を過すため、さらなる飛躍を遂げるため、松嵐山の志は高い。(鈴木 悟)

### 若力堂が存在感 5場所ぶり勝ち越し

ベテランの若力堂は名古屋場所5勝と存在感を示した。腰痛の影響で万全の態勢では臨めないことが多いが、場所前の稽古など、いつもの稽古越しは「石足に力が入らないときもあつたが今場所はしつかりと入っていた」と振り返った。02年春場所が初土俵で部屋では1番の古株。それでも実力的にはまだ上を目指せるはず、早く幕下に復帰して元気な姿を見せてほしいものだ。

### 若ノ藤無念 「出直し」誓う

名古屋場所6枚目まで迎えた若ノ藤は惜しくも3勝4敗で負け越した。勝ち越せば新幕下昇進を決める場所だったが、2勝2敗から連敗して6番相撲で負け越した。「地元の名古屋場所が初土俵で部

がった。春場所では序二段まで番付を下げていたが、2場所連続で6勝7大勝して大きく躍進。7番相撲で善富士(伊勢ヶ濱)を押し出し、秋場所への番付降下も最小限にとどめた。「立ち合いが受け取れるような相撲を取れればよい。また出直しの右差しながら目指し、さらなる精進を誓った。

### 恒例の夏合宿

名古屋場所終了後の8月4日から泊3日の日程で千葉県内で恒例の夏合宿を行った。参加したのは松鳳山ら力士とスタッフアが参加。天風会・田辺文



石氏による精神統一法の講習など普段の稽古とは違った「稽古」を行った。力士らは砂浜で海水浴などを行い、つかの間の自由時間を満喫した。千葉県内で行われた夏の合宿の自由時間を満喫

## 石原新二段昇進確実

石原が新二段昇進を確実にした。序二段西16枚目で迎えた名古屋場所は7番相撲で鳴海(阿武松)奇り勝ちで3勝を挙げた。最終は緊張「やっとです。10年目にして...」と目を細めた。05年春場所で初土俵を踏んで10年。最近序二段の中位で安定した成績を残していたが、なか

## 自己最高位確実 石山中も続く

石山中も自己最高位で迎えた名古屋場所は7番相撲で鳴海(阿武松)奇り勝ちで3勝を挙げた。最終は緊張「やっとです。10年目にして...」と目を細めた。05年春場所で初土俵を踏んで10年。最近序二段の中位で安定した成績を残していたが、なか

師匠	年寄	年寄	行司	行司	床山	呼び出し	呼出し	男	悟	床山	青葉恭孝
松ヶ根六男	北陣	川	式守錦太夫	武守慎之介	床平	松	男	悟	床山	青葉恭孝	
日高 六男	重澤 和春	南 克雄	神田 裕光	水谷 洋二	平島 和之	美根 祐弘	松原 弘一	朝倉 悟	松原 弘一	青葉 恭孝	
鹿兒島県鹿毛郡	千葉県市川市	千葉県市川市	千葉県市川市	鹿兒島県指宿市	東京都江東区	東京都台東区	愛知県豊田市	静岡県湖西市	静岡県湖西市	愛知県豊田市	

## 黒ヒョウ電団13力士完全1タ

黒ヒョウ電団13力士完全1タ。残り1タの秋へ。足が出ない。右まき手術し

力士	本名	生年月日	出身	初土俵	身長・体重	場所	初	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	千	成績	
松鳳山	松谷 裕也	1984年2月9日	福岡県上郡	06年春	134kg	1577	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8勝7敗 4勝11敗
若ノ藤	藤村 崇司	1989年7月24日	愛知県豊田市	05年春	130kg	1575	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6勝1敗 13勝4敗
徳州山	川元 裕仁	1989年5月24日	鹿児島県大島郡	05年夏	159kg	1572	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	3勝4敗 4勝3敗
犀皇丸	山田 力也	1984年11月2日	大阪府城東区	10年春	145kg	1579	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1敗6休
若力堂	渡田 聖也	1986年12月23日	愛知県豊田市	02年春	160kg	1587	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	3勝4敗 5勝2敗
石原	石原 一平	1989年10月26日	鹿児島県西之表市	05年春	135kg	1578	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	4勝3敗 5勝2敗
中園	空	1996年5月18日	鹿児島県西之表市	12年春	134kg	1574	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	3勝4敗 4勝3敗

力士	本名	生年月日	出身	初土俵	身長・体重	場所	初	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	千	成績	
若山中	山中 顕斗	1996年1月8日	福岡県北九州市	11年秋	125kg	1576	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	4勝3敗 4勝3敗
豪刃龍	有川 義一	1988年10月9日	鹿児島県鹿屋市	09年春	123kg	1570	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	3勝4敗 3勝4敗
今福	今福 順也	1990年10月23日	京都府南丹市	10年夏	110kg	1573	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	5勝2敗 5勝2敗
若佐藤	佐藤 宏哉	1996年12月26日	北海道苫小牧市	13年名	130kg	1577	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	3勝4敗 3勝4敗
中石	中石 流威	1998年7月24日	愛知県岡崎市	14年春	125kg	1580	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	2勝5敗 2勝5敗
山下	山下 一樹	1998年4月16日	福岡県北九州市	14年春	112kg	1572	夏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1勝6敗 1勝6敗

身の中石は地元の名古屋場所でも勝止まり。「稽古場など、相撲には慣れませんでした。また山下は1勝と振るわず緊張してしまうし、まだまだですと振り返った。2人とも勝ち越しがなければ「秋場所は絶対に勝ち越したい」と誓った。

◆転籍 7月17日付けで十西格行司の式守慎之助(38)は、本名・水谷洋二が松ヶ根部屋に転籍となった。鹿児島県指宿市出身で、92年九州場所から初土俵。片男部屋所属で活躍していた。13年名古屋場所から十西格となった。

元関脇・金剛(二所)関親方として日本相撲協会の理事も務めた北村正裕(きただら・まさひろ)氏が8月12日に肺炎のため千葉県印西市内の病院で死去した65歳だった。現役時代は明るい性格と軽妙な語りで「ほらまき金剛」の異名で親しまれた。75年名古屋では13勝2敗で平幕優勝。76年9月に引退し、二所ノ関部屋を継承。相撲協会では08年から理事となったが、12年10月下旬に体調不良を訴え、都内の病院に入院。脳梗塞と診断され、同年九州場所前に手術を行い、その後、心臓手術を受けた。その後は思うように回復せず、部屋運営が困難となった。部屋は昨年1月の初場所限りで閉鎖。北村氏は松ヶ根部屋に転籍したが、定年前の同年6月に相撲協会を退職していた。

## 北村正裕氏65歳で死去



松ヶ根QRコード